

道の駅「豊栄」で「豊栄パーキングフェスティバル」を行いました。

9月23日に道の駅「豊栄」において「豊栄パーキングフェスティバル」が新潟市北区役所、新潟北交通安全協会、新潟北警察署、豊栄商工物産振興会等の機関が参加して開催されました。

新潟国道事務所でも、防災意識の向上を図るために、時間雨量180mmまで体験できる「降雨体験車」や震度7まで体験できる「地震体験車」の「コーナー」を設置しました。



地震体験車での様子

降雨体験車での様子



今年は3月の東日本大震災や7月の新潟・福島豪雨もあり、昨年の体験者数233名を超える344名の方に体験していただきました。

関連URL: 記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/2011091601toyosakapafes.pdf>

にいこくの道路管理の“心臓部”を見学してもらいました！

10月7日(金)に山形県建設技術協会西置賜支部の皆さまが、にいこくの道路管理の“心臓部”である「ITSコックピット」を見学に訪れました。

「ITSコックピット」では、様々な情報を一括管理し、道路管理の効率化とともに道路利用者への情報提供も行っています。また、災害時には「災害対策室」となり、分刻みで集まる情報を元に、迅速な対応が行われます。

訪れた15名の方々からは、「リアルタイムで収集している道路の画像をどう活用しているのか。」や「本尊岩(国道49号阿賀町)地区の管理体制はどのようにしているのか。」などの質問が出されました。見学を終えると、参加者からは「にいこくの道路管理の手法や道路情報の発信等について知識を深めることができた。」との言葉を頂きました。

にいこくとしても、道路管理体制について、他県の道路管理担当者とは有意義な意見交換をすることができ、とても良い機会となりました。



「ITSコックピット」での見学の様子

関連URL: 記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/2011100401itscockpit.pdf>

安全・安心な交通を確保するために

10月6日(木)に、本尊岩地区(大牧から黒岩間)の防災点検を実施しました。

今回の防災点検は、平成23年7月新潟・福島豪雨や台風通過による影響を踏まえて、落石危険箇所の斜面の変状や、落石防止網等の防災施設の損傷について点検を実施したものです。



点検の結果、岩盤斜面の変状や落石防止網等の施設の異常は発見されませんでした。

新潟国道事務所では、引き続き、24時間体制による監視、異常時(大雨、地震、落石発生時)の点検を行い、自動車交通の安全確保に努めていきます。

関連URL: 記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/2011100302honzonniwa.pdf>

万代長嶺小学校生と『萬代橋』について学び合いました！

10月13日(木)に新潟市立万代長嶺小学校6年生の「小学生と学ぶ萬代橋と信濃川」の取り組みの一環である“萬代橋ウォッチング”に出席しました。

小学校で『萬代橋』の歴史についてご説明した後、万代クロッシングに場所を移し、施設内に展示してある初代萬代橋の基礎杭(木製)や現在の3代目萬代橋の設計書(一部)などを見学したりと、児童達は興味深く、また積極的に展示物を見ていました。そんな中、“発見した！”と目を輝かせていた児童からは、橋銘板の裏に“何か”記述があることを発見。後ほど裏面を確認したところ、初代萬代橋の通行料が有料から無料となった際に取り外された旨の内容でした。(112年前に取り外したもの！)

その後、萬代橋を歩いたり、萬代橋の写真を撮影しました。意外と知られていませんが、萬代橋の6連アーチの中央と端では長さが違うんです。照明柱と照明柱の間を歩数で測っても違いがわかります。

萬代橋について、にいくのホームページからパンフレットなどで色々を知ることが出来ます。意外と知らない、「へえ～」と思うエピソードがあると思いますので、興味のある方は是非一度ご覧下さい。



関連URL: 重要文化財『萬代橋』に関するサイト
<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/info/bandaibashi/index.html>

万代クロッシング建設時に出土した初代萬代橋の基礎杭に触れることができます。

新しい道路のルートに、地域の視点でご意見を。 ～第1回日本海沿岸東北自動車道ワーキンググループ開催～

10月12日(水)に、村上市猿沢の朝日みどりの里・体験交流センターで、第1回日本海沿岸東北自動車道ワーキンググループ(WG)が開催されました。

日本海沿岸東北自動車道(日沿道)は、今年3月27日に朝日まほろばICまで開通しています。しかし、その先の温海(仮称)ICまでの間は、未だ開通の目途のない区間(ミッシングリンク)です。

東日本大震災では、被災直後、日本海側ルートが寸断された太平洋側ルートの替わりを担い、日本海側ルートの重要性が再認識されました。また、道路が本来持つ防災・減災機能についても注目されており、そのような情勢の中で、日沿道の朝日まほろばIC～温海(仮称)IC間は、9月から道路の計画段階で事業の必要性などを評価する「計画段階評価」の試行に着手しています。

日沿道WGは、計画段階評価の一環である、地域の皆様の意見を聴くためのアンケートの内容や実施方法などを議論することを目的に設立されたもので、今回の第1回WGでは、委員や地方自治体の代表者から、大変活潑な意見や提案が出されました。

今回のWGの意見を踏まえ、今後、新しい道路の計画に関するアンケートを行い、その結果を次回WGで議論していただきます。

みちなび新潟でも、アンケートサイトへのリンクや、結果報告を随時掲載していきますので、ご注目下さい。



後藤道路部長のあいさつ



WGの様子



大川委員長を中心にWGが進められました

関連URL: 日沿道 計画段階評価

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/info/nittodo/index.html>

関連URL: 記者発表・日本海沿岸東北自動車道の計画段階評価着手について (H23.8.24)

http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/jump/jump_nittodo-press110824.html

関連URL: 記者発表・第1回日本海沿岸東北自動車道WGの開催について (H23.10.7)

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/2011100701nichienwg01.pdf>

編集・発行・お問い合わせ

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所 計画課

電話 025-244-2159 (代表) 〒950-0912 新潟県新潟市中央区南笹口2-1-65

E-MAIL: niikoku@hrr.mlit.go.jp みちなび新潟: <http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/index.html>

